

OBOGの キャリアデザイン



株式会社アクス
社長室 室長

吉田尚美さん

愛知淑徳高等学校第44回卒業（平成3年度卒業）。

愛知淑徳中学校入学当初から水泳部に所属し、全国大会などで実績を重ねる。高校2年生のときに受験のために引退。津田塾大学文学部数学科に進学し、卒業後はロータス株式会社（現：日本アイ・ピー・エム株式会社）に入社。GEキャピタルファイナンスに引き抜かれ、IT部門の専門職としてM&Aなどの業務に携わる。その後、地元・名古屋に戻り、愛知淑徳高等学校数学科非常勤講師、データデザイン株式会社を経て、現職。

楽しむ気持ちを大切に キャリアを積み重ねる根底に、 「淑徳魂」があります。

◆あたたかい理解や応援のもと、
水泳に思いきり熱中した日々

5歳から始めた水泳により打ち込みみたいと思ひ、愛知淑徳中学校に入学しました。当時、水泳部はインターハイで中高アベック優勝を果たし、2歳年上の先輩がオリンピックに出場して、部としてもどんどん強くなっていた時代。周囲からの期待を受け、毎日の練習はとてもハードでレベルの高い内容でした。「勝つて兜の緒をしめよ」。当時の顧問の横山悟先生がよく口にした言葉の通り、慢心することなく部員みんなと常に上をめざし、一丸となって鍛錬に励みました。受験のために引退した高校2年生までの5年間、家族、先生方、クラスメイトの理解や応援があり、まさに水泳ひとすじ。本当に楽しい日々でした。



10日間のカナダ遠征では、ハワイ大学での練習を経て、カナダの中高校生たちと練習や試合をおこなった。結果は、愛知淑徳チームの圧勝。吉田さんは個人メドレーで活躍した。

た。特に印象深いのは、中学校3年生のときに参加した、カナダ遠征。海外で練習や親善試合をおこなうという貴重な経験ができ、また、ホームステイもして国際交流の楽しさを学ぶきっかけにもなりました。水泳部の目標のひとつだったのが、文武両道。そのおかげで気持ちを切り替えて効率よく勉強する習慣がつき、大学受験でも、その先の学生生活や社会人生活でも大きな力になりました。

◆「IT」「英語」「金融」を軸に
キャリアアップを重ねていく

数学が好きだった私は、愛知淑徳高等学校を卒業後、津田塾大学文学部数学科に進学。インターナショナルな環境でのびのびと学び、教員免許状を取得し、世界各国への旅行なども経験しました。その中で、時代のキーワードは「IT」「英語」「金融」だと自分なりに分析し、キャリアプランを考えました。そして志望通り外資系企業であるロータス株式会社に入社し、表計算ソフトのサポート業務に従事。1年目にしてアメリカに赴任し、改めて語学的重要性を痛感して、向上心に火がつきました。社内の英会話教室で英語力を磨き、仕事へのモチベーションもさらに高まっていきました。そんなとき、以前から憧れていたGEキャピタルファイナンスにヘッドハンティングされ、願ってもないチャンスだと思ひ、転職を決意。IT部門の専門家としてM&Aに携わるなど、前職を活かしてよりスケールの大きな仕事に取り組み、忙しくも充実した毎日を過ごしました。

大型プロジェクトの成功を機に、一旦落ち着いて自分のキャリアを見つめ直そうと思ひ、地元の名古屋へ。そこで改めて人と人の縁の尊さを実感しました。愛知淑徳水泳部の80周年記念パーティーで、教員を引退し、株式会社アクスの社長として活躍の横山先生と再会。経営の手伝いをしてほしいとお誘いを受け、恩師の部下として働くことになったのです。



スタッフの研修会を定期的開催。仕事で最も大切なのは「人」という信念のもと、一人ひとりの働く意欲を高めている。後列一番左が吉田さん。

◆愛知淑徳での6年間で、
前進し続ける私の根底にある

社長室の経営企画マネージャーとして入社し、新規店舗への投資計画の立案、女性専用フィットネス事業の立ち上げ、スタッフの研修会の開催、イベントへの協賛を得るための営業活動……。さまざまな業務に取り組む中で、これまでIT業界、金融業界などで培った専門スキルや積み重ねたキャリアのすべてが力になっていると実感しています。

何事も楽しんでチャレンジしていけば、道が拓かれていく。「自分」と「将来」はいかようにも変えられる。そう信じて突き進んできた根底には、愛知淑徳で個性豊かな先生方や仲間と共に過ごした日々があります。礼儀やマナー、「個」を尊重し合うことの大切さを学び、さらに、社会で自立し、自己実現を果たしたいというキャリア観を培うことができました。愛知淑徳学園で学ば後輩のみならずも、今、取り組んでいることを思いきり楽しみ、未来のトピラを自分らしく開きましよう！